

【青森県つがる市】

校務 DX 計画

1. 「校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果における課題について

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」について、FAX を利用している、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類がある学校の割合が高く、また、校務においてのクラウドサービスを活用している学校が低いことが判明した。原因としては、活用できるシステム未導入等が考えられる。

2. FAX・押印の見直しについて

自己点検の結果によると、対象校 12 校、全ての学校で FAX を活用している。また、12 校の内 11 校の学校で、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があると回答している。

教育委員会では、学校から提出される申請書や報告書等の押印を求めている書類もある。学校、教育委員会としても押印の見直しを行うとともに、各学校において FAX での送信や押印を求めている関係機関や事業者等を把握し、慣行の見直しを図っていく。

3. 校務のクラウド化について

標準仕様のクラウドツール（Google workspace）を活用し、学校の職員間や保護者・児童生徒への連絡、通知についてデジタル化を進めた。学校から保護者への通知等はメールにより実施し、回答を求める場合は二次元コードによるクラウドツールの活用実施率が、おおむね 100% となっており、一部保護者が紙媒体での返信・回答を行っている。引き続き学校と連携し定着率 100% を目指していく。そのほか、職員会議等の資料共有にはクラウドツール（Google workspace）を用いることでペーパーレス化を促進する。

また、現在、校務支援システムは未導入である。令和 8 年度に導入する予定であり、クラウドツールについても校務支援システムと連携可能なツールを再選定し、校務の効率化、帳票の統一を図り、教職員の働き方改革を進めていく。